

資料編

- 環境に関連する北九州市の主な支援制度等
- 北九州市の環境年表
- 北九州市の環境学習施設
- 北九州市の「資源」と「ごみ」の分け方・出し方
- 北九州市の「資源」と「ごみ」のゆくえ
- 北九州市内のごみ処理施設
- 小型電子機器および充電式電池の分別回収
- 廃食用油の回収
- 北九州市域の温室効果ガス総排出量
- 小倉都心部の脱炭素まちづくり
- 2050年の脱炭素社会のイメージ
- 環境マスコットキャラクター“ていたん&ブラックていたん”
- 環境ラベル
- カネミ油症とは
- 節電のすすめ



北九州市のホームページ

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp>



Official Textbook for Kitakyushu City World Environmental Capital Examination

環境に関連する北九州市の主な支援制度等

(2025年4月現在)

① 古紙・古着のリサイクル

● 集団資源回収団体奨励金制度：古紙・古着の回収を行う地域の市民団体に対し、回収量に応じて奨励金を交付。

● まちづくり協議会古紙回収地域調整奨励金制度：地域内での古紙回収促進のPRなどを継続して行うまちづくり協議会に対し、奨励金を交付。

【担当：循環社会推進課 ☎093-582-2187】

② 生ごみのリサイクル

家庭から出る生ごみの減量化・資源化を推進するため、市民・地域団体を対象にした生ごみコンポスト化容器活用講座などを開催。

【担当：循環社会推進課 ☎093-582-2187】

③ 剪定枝のリサイクル

町内会などの地域団体（概ね100世帯以上）が各家庭から集めた、剪定した枝葉を市が回収。

【担当：循環社会推進課 ☎093-582-2187】

④ 廃食用油のリサイクル

家庭から出た廃食用油の回収を行う自治会・町内会やまちづくり協議会に、回収ボックスを貸与。

【担当：循環社会推進課 ☎093-582-2187】

⑤ 小型浄化槽の設置

住宅に小型浄化槽を設置する市民に補助金を交付。

【担当：業務課 ☎093-582-2180】

⑥ 環境未来ビジネス創出助成事業

新規性、独自性に優れ、かつ実現性の高い環境技術の研究及びビジネス創出に対して研究費等を助成。

【担当：サーキュラーエコノミー推進課 ☎093-582-2630】

⑦ 自然環境保全活動支援事業

自然環境に関する保全活動や普及啓発活動に取り組む市民団体等に対し、活動費用の一部を助成（1団体あたり10万円以下）。

【担当：ネイチャーポジティブ推進課 ☎093-582-2239】

⑧ 中小企業の3E-Action

（創エネ・省エネ・蓄エネ）応援事業

自家消費型太陽光発電設備、蓄電池、省エネ機器、電動車（EV、PHV、PHEV）及びV2H充放電器等を設置し、再エネ100%電力化に取り組む市内の中小企業等に対し、費用の一部を補助します。

【担当：再生可能エネルギー導入推進課 ☎093-582-2238】

⑨ 市内事業者等への再エネ100%北九州モデル普及推進事業

市内中小企業等の施設に第三者所有方式での太陽光発電設備等を導入する事業者（PPA事業者、リース会社等）に対し、費用の一部を補助します。

【担当：再生可能エネルギー導入推進課 ☎093-582-2238】

北九州市の環境年表



年 号	北 九 州 市 の 動 き	時代を表すキーワード
1901 (明治34) 年	● 官営八幡製鉄所操業。「鉄のまち」として発展	● 20世紀開幕、福沢諭吉没
1953 (昭和28) 年	● 戸畑デポジットゲージ (降下ばいじん測定器) 設置	● テレビ放送スタート ● 真知子巻き
1960年代 (昭和35年～)	● 重化学工業の発展と共に公害問題深刻化 (ばい煙・廃水による汚染)	● 安保闘争 ● 三井三池争議
1963 (昭和38) 年	● 5市合併により北九州市誕生 ● 衛生局公衆衛生課に公害係設置 (4名)	● 初国産アニメ「鉄腕アトム」
1964 (昭和39) 年	● 大気汚染自動測定機設置 (硫酸酸化物・浮遊粉じん) ● 公害対策審議会 (第1回) 開催	● 東京オリンピック開催
1965 (昭和40) 年	● 洞海湾周辺地域で、年平均80t/km ² /月 (最大108t) の降下ばいじん量を記録 ● 戸畑婦人協議会が記録映画「青空がほしい」を制作	● 夢の島 ● モンキーダンス
1968 (昭和43) 年	● 大気汚染防止法施行、騒音規制法施行	● いざなぎ景気 ● 三億円事件発生
1969 (昭和44) 年	● 北九州市初のスモッグ警報発令 ● 洞海湾水質調査で、溶存酸素量0.6mg/ℓ、COD48.4mg/ℓ、シアン、ヒ素などの有害物質が高濃度に含まれていることが判明。以後「死の海」と呼ばれる ● 北九州市大気汚染防止連絡協議会設立	● アポロ11号月面着陸
1970 (昭和45) 年	● スモッグ警報発令権限を北九州市長へ委譲 ● 本庁舎内に公害監視センターが完成 ● 公共下水処理場が稼働 ● 北九州市公害防止条例公布	● 日本万国博覧会開催 ● 三島事件
1971 (昭和46) 年	● 特殊気象情報通報制度を確立 ● 北九州市公害防止条例全面改正公布 ● 本格的な産業物焼却工場完成	● ドルショック ● アンノン族
1972 (昭和47) 年	● 市内54事業所と公害防止協定締結 ● 公害防止計画閣議決定	● 日中国交回復 ● バンダブーム ● 国連人間環境会議開催 かけがえない地球
1974 (昭和49) 年	● 洞海湾浚渫工事開始 (～1975年7月)	● 田中首相、金脈問題で退陣
1977 (昭和52) 年	● 城山小学校廃校	● 気象衛星「ひまわり」
1979 (昭和54) 年	● 緩衝緑地事業開始 (～1983年度)	● 省エネルギー ● 地方の時代
1980 (昭和55) 年	● 臨海部に大規模な廃棄物処分場を開設 ● 紫川堆積汚泥浚渫工事完了 (1969年開始) ● 財団法人北九州国際技術協力協会 (KITA) 設立	● 学園ドラマ人気 ● 竹の子族
1985 (昭和60) 年	● 経済協力開発機構 (OECD) の環境白書で「灰色の街」から「緑の街」へ変ぼうを遂げた都市として紹介 ● 「緑の都市賞・内閣総理大臣賞」受賞 ● 北九州市公共下水道2000km達成	● ナイロビ宣言 ● フルムーン
1986 (昭和61) 年	● 北九州市都市景観条例策定 ● 北九州市環境管理計画策定	● ファミコン ● 新人類
1987 (昭和62) 年	● 紫川マイタウン・マイリバー整備事業開始 ● 「星空の街コンテスト」(環境庁) で、大気環境が良好な都市として「星空の街」に選定	● 日本人宇宙飛行士誕生 ● 国鉄民営化 ● サラダ記念日
1988 (昭和63) 年	● ぜん息指定地域解除	● 青函トンネル
1990 (平成 2) 年	● 国連環境計画 (UNEP) から日本の自治体として「グローバル500」初受賞	● バブル経済 ● 成田離婚
1992 (平成 4) 年	● リオデジャネイロ (ブラジル) で開催された地球サミットで世界11都市とともに「国連地方自治体表彰」を受賞 ● 北九州国際技術協力協会に環境協力センター開設 ● 「ごみとリサイクルを考える北九州委員会」設置	● 地球サミット ● 低公害車
1993 (平成 5) 年	● 「北九州まち美化懇話会」設置 ● かん・びん分別収集開始	● 週休2日制
1994 (平成 6) 年	● 「北九州市空き缶等の散乱の防止に関する条例」制定	● 就職氷河期
1996 (平成 8) 年	● 「アジェンダ21北九州」策定 ● ODAによる大連開発調査開始	● メークドラマ
1997 (平成 9) 年	● エコタウン事業地域承認	● たまごっち
1998 (平成10) 年	● 家庭ごみ有料指定袋導入	● 環境ホルモン
2000 (平成12) 年	● 国連ESCAP主催の環境大臣会議が北九州市で開催され「クリーンな環境のための北九州イニシアティブ」が採択 ● 北九州環境基本条例公布	● IT革命
2001 (平成13) 年	● 大連市との国際環境協力が認められて、「中国、国家友誼賞」受賞 ● 北九州学術研究都市誕生 ● 北九州博覧祭開催	● 米国同時多発テロ

年 号	北 九 州 市 の 動 き	時代を表すキーワード
2002 (平成14) 年	● ヨハネスブルクで開催された地球サミットで「地球サミット2002持続可能な開発賞」を受賞 (世界で2件) ● 地球サミット実施計画に「クリーンな環境のための北九州イニシアティブ」が明記 ● 「環境ミュージアム」開設	● 声に出して読みたい日本語
2004 (平成16) 年	● 「グランド・デザイン」策定 ● PCB事業開始	● 新潟県中越沖地震
2006 (平成18) 年	● ノーベル平和賞受賞者のワンガリ・マータイさんが来北 ● 国連大学の「持続可能な開発のための教育」(ESD) の地域拠点 (RCE) に認定 ● 家庭ごみ分別見直し ● アジアの環境人材育成拠点形成事業開始	● ライブドア事件 ● ハンカチ王子
2007 (平成19) 年	● 北九州市プラスチック資源化センター稼働開始 ● 10年ぶりに光化学スモッグ注意報発令 ● 「第2回3R推進全国大会」を北九州市で開催 ● 中国・青島市と日中循環型都市協力事業開始 ● 環境基本計画策定	● 郵政民営化
2008 (平成20) 年	● 第7回日本の環境首都コンテストで、総合第1位 (2年連続) ● 「こどもエコクラブ全国フェスティバルin北九州」開催 (北九州市では2回目の開催) ● 「環境モデル都市」に選定 ● 中国・天津市と日中循環型都市協力事業開始	● 毒入りギョーザ ● サブプライム問題
2009 (平成21) 年	● 第1回環境モデル都市九州・沖縄3都市連合会議 (設立会議) 開催 ● 「北九州市環境モデル都市行動計画 (北九州グリーンフロンティアプラン)」策定 ● 環境省が電気自動車等に係る実証実験を北九州市で開始 ● 「北九州次世代エネルギーパーク」開設 ● 「北九州水素ステーション」オープン	● 草食系男子 ● 新型インフルエンザ
2010 (平成22) 年	● 「北九州市環境産業推進会議」設立 ● 北九州スマートコミュニティ創造事業が国の次世代エネルギー・社会システム実証地域に選定 ● 「北九州エコハウス」オープン ● 「アジア低炭素化センター」設立 ● 「北九州市生物多様性戦略」策定 ● 「ウォータープラザ北九州」開設	● スマートシティ ● AKB48
2011 (平成23) 年	● 経済協力開発機構 (OECD) の「グリーンシティプログラムにおけるグリーン成長都市」に選定 ● 「北九州市循環型社会形成推進基本計画」策定 ● 「国際総合戦略特区」選定 ● 「環境未来都市」選定	● 東日本大震災 ● なでしこジャパン
2012 (平成24) 年	● 「北九州地球の道」開設 ● 「北九州市響灘ビオトープ」オープン	● 東京スカイツリー
2013 (平成25) 年	● 第15回日中韓三ヵ国環境大臣会合の北九州市開催 ● 「OECDグリーンシティ・プログラム北九州レポート発表会議」の開催 ● 「北九州エコマンス」の実施	● 富士山世界文化遺産登録
2014 (平成26) 年	● 「環境モデル都市北九州市・小国町の連携に関する協定書」の締結 ● 九州初 (全国2番目の) 商用水素ステーション開所	● 集団的自衛権
2015 (平成27) 年	● PCB廃棄物処理事業の処理の拡大と処理期限の延長開始 ● 株式会社北九州パワー設立	● 爆買い
2016 (平成28) 年	● 「第2次北九州市生物多様性戦略」策定 ● G7北九州エネルギー大臣会合 (EMM) の開催	● 熊本地震
2017 (平成29) 年	● 上皇、上皇后両陛下がエコタウンセンターをご視察 ● フィリピン・ダバオ市との「環境姉妹都市連携に関する覚書」の締結	● インスタ映え ● 付度
2018 (平成30) 年	● OECDの「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定 ● SDGs未来都市に選定	● そだねー
2019 (令和元) 年	● 第21回日中韓三ヵ国環境大臣会合の北九州市開催	● ONE TEAM
2020 (令和 2) 年	● 2050年までに脱炭素社会の実現を目指す、ゼロカーボンシティを宣言	● 3密 (新型コロナウイルス感染症)
2021 (令和 3) 年	● 環境と経済の好循環によりゼロカーボンシティ実現に向けた決意を表明 (北九州市気候非常事態宣言) ● 「第2期北九州市循環型社会形成推進基本計画」の策定 ● 「北九州市地球温暖化対策実行計画」の策定	● リアルニ刀流／ショータイム
2022 (令和 4) 年	● 「北九州市グリーン成長推進戦略」の策定 ● 「脱炭素先行地域」に選定	● 成人年齢18歳
2023 (令和 5) 年	● プラスチック資源一括回収を開始 ● 響灘ビオトープが自然共生サイトに認定	● 生成AI
2024 (令和 6) 年	● PCB事業終了 ● 響灘ビオトープが国連の国際データベース (OECD) に登録	● 令和の米騒動

北九州市の環境学習施設

市内には、北九州市環境ミュージアムをはじめ、それぞれの分野で環境を学ぶことのできる施設がたくさんあります。

ここでは、主な環境学習施設 41ヶ所をご紹介します。（2025年4月現在）

施設の分野説明
アイコン



生活系

環境問題全般、エコライフ、公害克服の歴史、
地産地消、エネルギー、上水・下水、大気保全



リサイクル系
ごみ・リサイクル



自然系

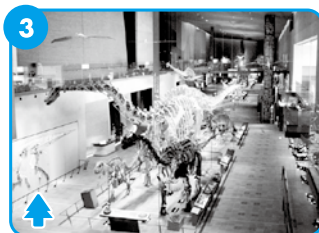
動物、植物、水辺環境、星空観察、自然体験



1 **タカミヤ環境ミュージアム**
八幡東区東田2-2-6
☎(093) 663-6751



2 **エコタウンセンター**
若松区向洋町10-20
☎(093) 752-2881



3 **いのちのたび博物館**
八幡東区東田2-4-1
☎(093) 681-1011



4 **到津の森公園**
小倉北区上到津4-1-8
☎(093) 651-1895



5 **水環境館**
小倉北区船場町1-2
☎(093) 551-3011



6 **山田緑地**
小倉北区山田町
☎(093) 582-4870



7 **平尾台自然観察センター**
北九州市小倉南区平尾台1-4-40
☎(093) 453-3737



8 9 10 **ごみ焼却工場（3ヶ所）**
⑧皇后崎工場 ☎(093) 642-6731
⑨新門司工場 ☎(093) 481-4727
⑩日明工場 ☎(093) 581-7976



11 12 **かんびん資源化センター（2ヶ所）**
⑪日明かんびん資源化センター ☎(093) 583-7200
⑫本城かんびん資源化センター ☎(093) 693-8525



13 14 **ほたる館（2ヶ所）**
⑬八幡西区香月西4-6-1 ☎(093) 618-2727
⑭小倉北区熊谷2-5-1 ☎(093) 561-0800



15 **平尾台自然の郷（ソラランド平尾台）**
小倉南区平尾台1-1-1
☎(093) 452-2715



17 **響灘緑地グリーンパーク**
若松区大字竹並1006番地
☎(093) 741-5545



18 **洞海バイオパーク**
八幡西区本城5丁目（洞北緑地内）
☎(093) 582-2426（上下水道局下水道保全課）



19 20 21 22 23 **下水道浄化センター（5ヶ所）**
⑲日明浄化センター（ビジターセンター） ⑳皇后崎浄化センター
㉑北漢浄化センター ㉒新町浄化センター ㉓曽根浄化センター
☎共通 (093) 582-2485（上下水道局施設課）



27 **白野江植物公園**
門司区白野江2丁目
☎(093) 341-8111



28 **学術研究都市**
若松区ひびきの2-1
☎(093) 695-3111



29 **北九州次世代エネルギーパーク**
若松区響灘地区
☎(093) 752-2881



32 33 34 **少年自然の家・青年の家（3ヶ所）**
㉔かぐめよし少年自然の家 ☎(093) 451-3111
㉕もじ少年自然の家 ☎(093) 341-1128
㉖玄海青年の家 ☎(093) 741-2801



35 **ウォータープラザ北九州**
小倉北区西港町96-1（日明浄化センター内）
☎(093) 562-3271



36 **響灘ビオトープ**
若松区響町1丁目
☎(093) 751-2023



37 **安川電機みらい館**
八幡西区黒崎城石2-1
☎(093) 645-7705
見学申込
<https://www.yaskawa.co.jp/company/tour>



38 **TOTOミュージアム**
小倉北区中島2-1-1
☎(093) 951-2534
見学申込
<https://jp.toto.com/knowledge/visit/museum/>



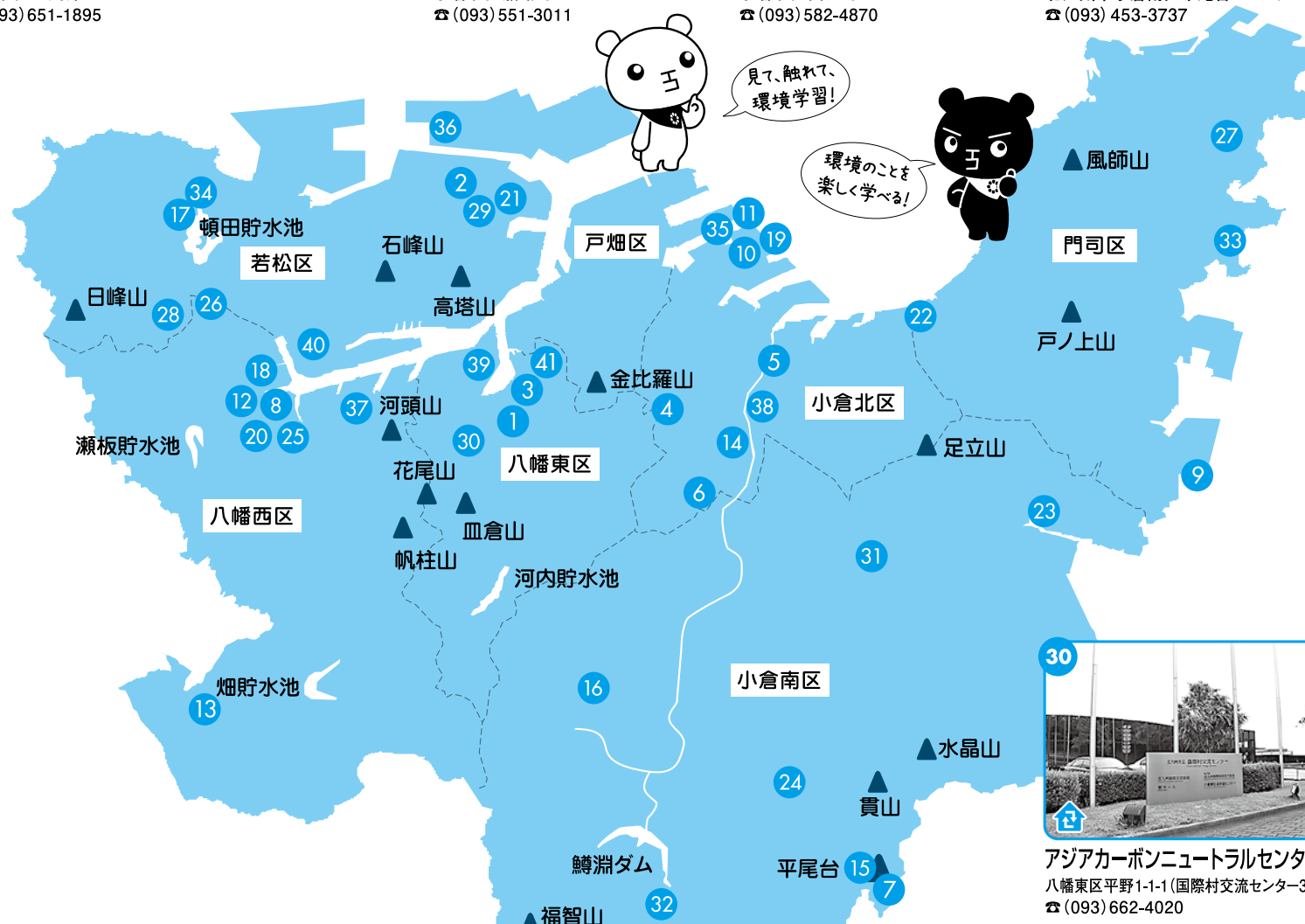
39 **九州製紙株式会社**
北九州市八幡東区前田洞岡2-1
見学の申込みは北九州産業観光センターまで
☎(093) 541- 4151
<http://www.kyushu-seishi.co.jp>



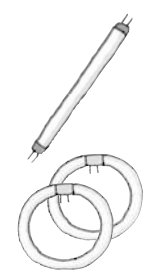
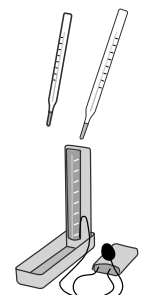
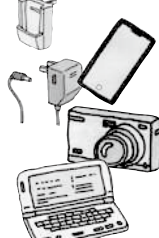
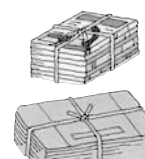
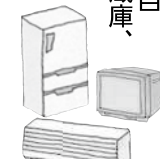
40 **シャボン玉石けん株式会社**
北九州市若松区南二島2丁目23-1
☎(093) 588-5489
<http://www.shabon.com>

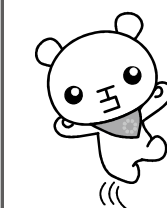


41 **スペースLABO**
北九州市八幡東区東田4丁目1-1
☎(093) 671-4566
<https://www.kitakyushuspacelabo.jp/>

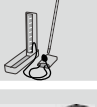


北九州市の「資源」と「ごみ」の分け方・出し方

 家庭ごみ 北九州市指定袋 家庭ごみ用 	 かん・びん 北九州市指定袋 かん・びん用 	 ペットボトル  PET ※このマークが目印 北九州市指定袋 ペットボトル用 	 プラスチック 北九州市指定袋 プラスチック用 	 粗大ごみ 	 紙パック 飲料用の紙パック 	 トレイ (プラスチックとしても収集) 食品トレイ 	 蛍光管 ●環型蛍光管 ●直型蛍光管 (LED型不可) 	 水銀体温計・水銀血圧計 水銀温度計 	 電池類 ●モバイルバッテリー ●電子たばこ ●充電式電池 ●ボタン電池 ●乾電池など 	 小物金属 ●なべ ●やかん ●フライパンなど 	 小型電子機器 ●スマートフォン ●デジタルカメラ ●ビデオカメラなどの 小型電化製品 	 食用油 ●使用済み食用油 	 古着 ●Tシャツ、デニムなどの 古着 	 古紙 ●新聞 ●雑誌 ●段ボール ●雑がみ 	 市が収集しないもの ●家電リサイクル法の対象品目 (エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、 洗濯機、衣類乾燥機) ●危険物など(消火器、灯油、 塗料など) 
家庭ごみ ステーション 月・木 または 火・金 週2回	資源化物ステーション 毎週水曜日 指定された 曜日 週1回		事前申込 地区ごとの 指定日 月1回	拠点回収  回収場所は拠点回収ボックス等 										●集団資源回収 ●市民センター ●スーパーマーケット などの店頭回収 	



北九州市の「資源」と「ごみ」のゆくえ

皆さんが分別するもの			リサイクル製品など
1	 家庭ごみ		●電気 ●蒸気 ●セメント資源
2	 かん・びん		●アルミ缶・びん ●スチール缶 ●自動車部品など
3	 ペットボトル		●ペットボトル再生品
4	 プラスチック		●プラスチックの原料 ●製鉄原料など
5	 粗大ごみ		●電気 ●蒸気 ●自動車用構造部材 ●建築資材など
6	 紙パック		●リサイクルトイレットペーパー
7	 トレイ		●トレイ ●建築資材 ●定規・ボールペン
8	 蛍光管		●蛍光管など
9	 水銀体温計		●蛍光管など
10	 電池類		●鉄・亜鉛・ニッケルなど
11	 小物金属		●自動車部品など
12	 小型電子機器		●レアメタル・貴金属など
13	 食用油		●バイオマス燃料
14	 古着		●衣料として再利用 ●工業用ぞうきん ●自動車内装材
15	 古紙	集団資源回収 子ども会・町内会・ まちづくり協議会など	●再生紙 ●リサイクルトイレットペーパー

北九州市内のごみ処理施設

“循環型社会のモデル都市づくりをめざす”北九州市では、資源循環と環境保全のためのさまざまなごみ処理施設が連携して、健康的で快適な市民生活をサポートしています。



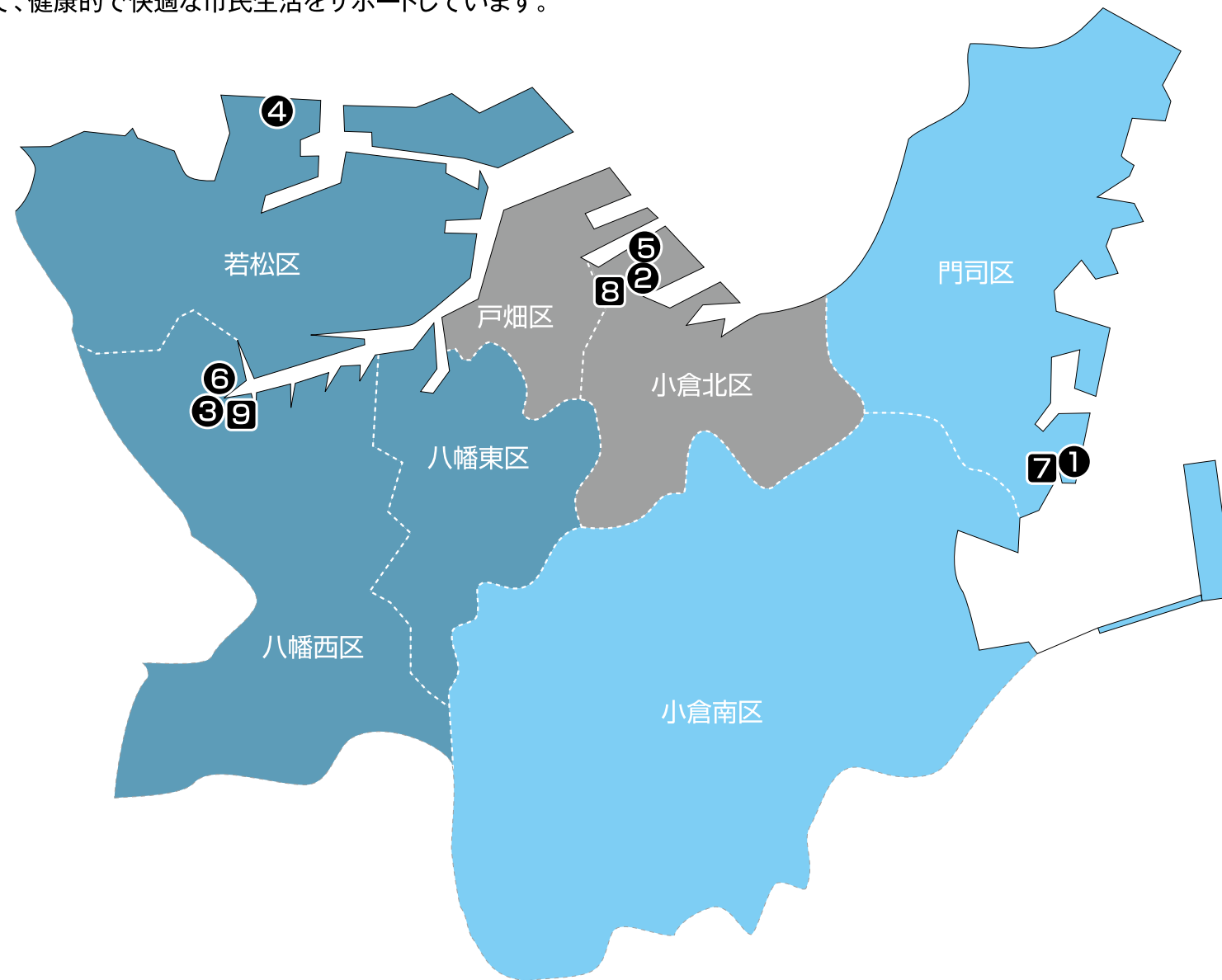
① 新門司工場
1日に720tのごみ処理が可能です。
発電出力は23,500kWです。
☎093-481-4727



② 日明工場
1日に508tのごみ処理が可能です。
発電出力は18,000kWです。
☎093-581-7976



③ 皇后崎工場
1日に810tのごみ処理が可能です。
発電出力は17,200kWです。
☎093-642-6731



⑦～⑨ 環境センター (写真は⑦ 新門司環境センター)
一般ごみの収集、資源ごみの収集、集団資源回収団体の登録受付、ごみ処理に関する指導などを行っています。

⑦ 新門司環境センター
☎093-481-7053

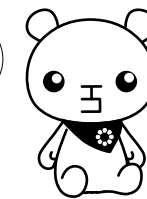
⑧ 日明環境センター
☎093-571-4481

⑨ 皇后崎環境センター
☎093-631-5337

家庭ごみの収集エリア

- 新門司工場へ搬入
- 日明工場へ搬入
- 皇后崎工場へ搬入

健康的で快適な暮らしを支える大切な施設なんだよ



色々な施設が連携して、ごみを処理をしているんだね



④ 響灘西地区廃棄物処分場
焼却灰や建設廃材などを埋めて処分します。
☎093-771-3991



⑤ 日明かんびん資源化センター
ごみの再資源化のための施設。収集した、かん・びん・ペットボトル・紙パック・トレイを分別します。 ☎093-583-7200



⑥ 本城かんびん資源化センター
ごみの再資源化のための施設。収集した、かん・びん・ペットボトル・紙パック・トレイを分別します。 ☎093-693-8525

小型電子機器および充電式電池の分別回収

携帯電話などの小型電子機器やモバイルバッテリーなどの充電式電池には、貴重な資源が多く使われています。北九州市では「小型家電リサイクル法」や「資源有効利用促進法」に基づき、これらを適正、確実に処理するリサイクル事業を実施しています。



- 回収品目**
- ・回収ボックスの投入口（25cm×8.5cm）に入る小型の家電製品
 - ・電極にビニールテープなどで絶縁処理を行った電池類

《例》

小型電子機器

携帯電話、小型ゲーム機、デジタルカメラ、電子辞書、電気シェーバーなど。

※回収ボックスの投入口（25cm×8.5cm）に入るものが対象です。

※ACアダプタやコードも回収可能です。

充電式電池等

電化製品から取り外せるリチウムイオン電池等の充電式電池、モバイルバッテリー、電子たばこ・加熱式たばこなど。

※乾電池やボタン電池も回収できます。

発火防止のため、右のイラストのように電極にビニールテープを貼ってください。

出し方

■お近くの区役所や市民センターの回収ボックスへ。

注意事項

- ①製品は壊れていても構いません。
- ②個人情報のあるものは、あらかじめ消去してください。
- ③小型電子機器は回収ボックスの投入口（25cm×8.5cm）に入るものが対象になります。
- ④取り外し可能な電池は除いてください。
- ⑤電池類は絶縁処理をお願いします。

※回収する製品としてイラストようなものをイメージしています。また、付属品（リモコン、アダプター）も引き続き回収します。

回収ボックス設置場所

門司区	門司区役所	小倉北区	北九州市役所	小倉南区	小倉南区役所	若松区	若松区役所
	丸山市民センター		小倉北区役所		北九州市立大学(北方キャンパス)		青葉市民センター
	大里南市民センター		中井市民センター		徳力市民センター		藤ノ木市民センター
	白野江市民センター		西小倉市民センター		広徳市民センター		赤崎市民センター
	東郷市民センター		清水市民センター		志井市民センター		古前市民センター
	老松市民センター		南小倉市民センター		東谷市民センター		高須市民センター
	小森江東市民センター		貴船市民センター		湯川市民センター		二島市民センター
	大里東市民センター		足立市民センター		貫市民センター		
	大里柳市民センター		霧丘市民センター		田原市民センター		
	田野浦市民センター		井堀市民センター		若園市民センター		
八幡東区	藤松市民センター	八幡西区	小倉市民センター	戸畑区	戸畑区役所	戸畑区	戸畑区役所
	松ヶ江北市民センター		折尾市民センター		折尾市民センター		折尾市民センター
			永犬丸市民センター		香月市民センター		香月市民センター
			黒畑市民センター		黒崎市民センター		黒崎市民センター
			永犬丸西市民センター		千代市民センター		千代市民センター

●問い合わせ先：環境局業務課 ☎093-582-2180

（2025年4月現在）

廃食用油の回収

回収された使用済み食用油はバイオディーゼル燃料（BDF）やバイオマス発電の燃料にリサイクルされています。ごみのリサイクルと同時に、植物由来の燃料を利用することによる地球温暖化対策、限りある資源である石油の使用量削減に繋がります。



- 回収対象**
- 植物性油のみ（大豆油、菜種油、キャノーラ油、コーン油、米油、べに花油、ごま油、オリーブ油、ひまわり油など）
- ※ エンジンオイルなどの鉱物油、ラードなどの動物性油は回収の対象外です。

使用済み食用油の出し方

食用油をよく冷ます

天かすなどのごみは、アミなどで除く

ろうと漏斗を利用するなど、こぼれないように

しっかりフタを閉める

ペットボトルごと油回収ボックスへ

飲料用ペットボトル

油回収ボックス

使用済み食用油回収ボックス設置場所

※設置場所によって、持ち込み可能容器の種類が異なりますので、ご注意ください。

門司区	マックスバリュ門司西店	小倉北区	サンリブ朝日ヶ丘店	霧丘市民センター	小倉南区	サンリブシティ小倉	沼市民センター
	ハローデイ門司港店		マックスバリュ小倉愛宕店	中島市民センター		ハローデイ貴店	両谷市民センター
	ゆめマート恒見店		スピナマート大手町店	泉台市民センター		ハローデイ横代店	若園市民センター
	アルク西門司店		サンリブ到津店	日明市民センター		ゆめマート小倉東店	朽網市民センター
	ゆめマート東門司店		マルショク富野店	足立市民センター		ゆめマート朽網店	曾根市民センター
	清見市民センター		マルショク重住店	西小倉市民センター		ゆめマート城野店	曾根東市民センター
	庄公民館		ゆめマート小倉店	南小倉市民センター		エフコープ沼店	高蔵市民センター
	田野浦市民センター					ゆめマート若園店	田原市民センター
	東郷市民センター					長尾市民センター	吉田市民センター
	藤松市民センター					北方市民センター	
白野江市民センター							
新門司地区複合公共施設							

若松区	サンリブ高須店	八幡西区	マックスバリュ上の原店	サニー本城店	則松市民センター
	イオン若松店		ゆめマート香月西店	ゆめマート永犬丸店	青山市民センター
	サンリブ若松店		ハローデイ下上津役店	穴生市民センター	香月市民センター
	サニー二島店		スピナマート穴生店	医生丘市民センター	熊西市民センター
	島郷市民センター		マックスバリュ本城店	永犬丸市民センター	黒畑市民センター
	藤ノ木市民センター		イオンタウン黒崎	塔野市民センター	黒崎市民センター
			ゆめマート青山店	星ヶ丘市民センター	陣原市民センター
			ゆめマート本城店	光貞市民センター	竹末市民センター
			エフコープ折尾店	上津役市民センター	筒井市民センター
			ゆめマート東折尾店	中尾市民センター	

戸畑区	イオン戸畑店
	セブンイレブン天籟寺店*
	スピナマート鞘ヶ谷店
	一枝市民センター

牧山東市民センター

*500mlペットボトルのみ持ち込み可能施設です。

●問い合わせ先：環境局循環社会推進課 ☎093-582-2187

（2025年4月現在）

北九州市域の温室効果ガス総排出量

北九州市の温室効果ガス排出量内訳（部門別）

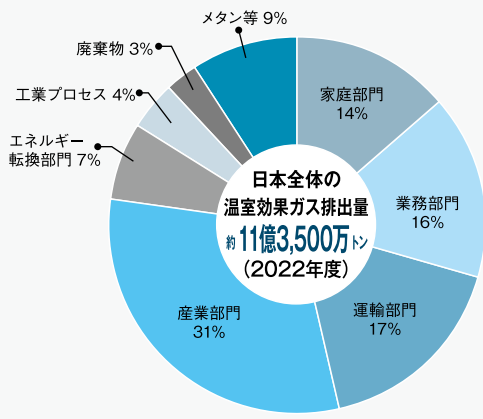
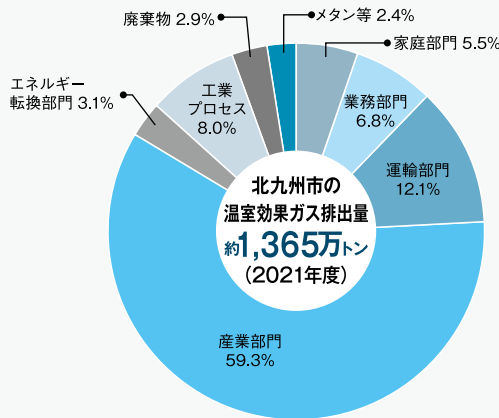
(単位：千トン-CO ₂)												
区 分		2013 (平成25) 年度	2017 (平成29) 年度	2018 (平成30) 年度	2019 (令和元) 年度	2020 (令和2) 年度	2021 (令和3) 年度	[前年度比]		[H25年度比]		2021 (令和3) 構成比
								増減量	増減率	増減量	増減率	
二酸化炭素	家 庭 部 門	1,453	1,067	767	731	831	745	▲86	▲10.4%	▲708	▲48.7%	5.5%
	業 務 部 門	1,535	1,093	989	1,033	1,010	923	▲87	▲8.6%	▲612	▲39.9%	6.8%
	運 輸 部 門	1,968	1,675	1,675	1,660	1,612	1,653	+41	+2.5%	▲315	▲16.0%	12.1%
	産 業 部 門	11,661	10,069	9,804	9,495	7,885	8,089	+204	+2.6%	▲3,571	▲30.6%	59.3%
	エネルギー転換部門	406	433	377	425	409	421	+12	+3.0%	+15	+3.6%	3.1%
	工 業 プ ロ セ ス	1,287	1,152	1,166	1,096	1,048	1,093	+45	+4.3%	▲193	▲15.0%	8.0%
	廃 棄 物	420	399	412	405	412	403	▲10	▲2.3%	▲17	▲4.1%	2.9%
二 酸 化 炭 素 合 計		18,730	15,887	15,190	14,844	13,207	13,327	+120	+0.9%	▲5,403	▲28.8%	97.6%
メ タ ン		30	29	29	28	28	28	▲0	▲1.2%	▲2	▲7.7%	0.2%
一 酸 化 二 窒 素		44	41	41	41	40	40	+0	+0.2%	▲4	▲8.1%	0.3%
フ ロ ン ガ ス 等		170	224	231	242	251	254	+3	+1.2%	+84	+49.5%	1.9%
温 室 効 果 ガ ス 合 計		18,973	16,182	15,491	15,155	13,525	13,648	+123	+0.9%	▲5,325	▲28.1%	100.0%

(注：1) 端数処理により合計が一致しない場合がある。

※令和7年3月時点のものであり推計に用いている各種統計データの
見直し等により、今後数値が変更される場合がある

部門		対象施設など
エネルギー 起源 二酸化炭素 (CO ₂)	家庭	一般家庭(暮らし)
	業務	事務所(オフィス)、ホテル、小売店、病院など
	運輸	自動車、鉄道、船舶、航空機
	産業	農林水産業、工業、建設業、製造業
	エネルギー 転換	電気、ガス事業者の製造過程で使用される自家消費分
非エネルギー 起源 二酸化炭素 (CO ₂)	工業 プロセス	窯業、化学工業、鉄鋼業など
	廃棄物	廃棄物であるプラスチック類の焼却に係る物
メタン(CH ₄)		水田や廃棄物処分場での嫌気性発酵などで発生
一酸化二窒素(N ₂ O)		化石燃料の使用や、一部の化学原料製造過程や家畜排泄物の 分解過程で発生
フロンガス等 (HFCs、PFCs、SF ₆ 、NF ₃)		冷凍機器の冷媒や断熱材等に使用(HFCs)、半導体製造工程 等で使用(PFCs)、電気絶縁ガス等に使用(SF ₆)、半導体製造 工程のドライエッチング材に使用(NF ₃)

北九州市および全国の温室効果ガス排出状況



(環境省公表資料より作成)

小倉都心部の脱炭素まちづくり

1 北九州の 玄関・顔づくり

あさの汐風公園



JR小倉駅南口太陽光発電ルーフ



3 エコにこだわる ライフスタイルづくり

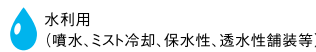
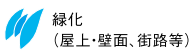
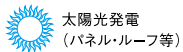
アルモニサック北九州ソレイユホルの屋上緑化



電気自動車充電設備の整備



〈 凡 例 〉

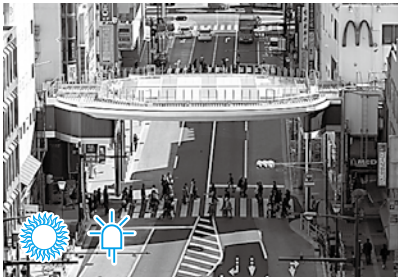


2 人が行き交う 動線づくり

勝山橋太陽光発電ルーフ



魚町エコルーフ



4 エコが学べる 都心づくり

紫川水上ステージへの太陽光発電導入

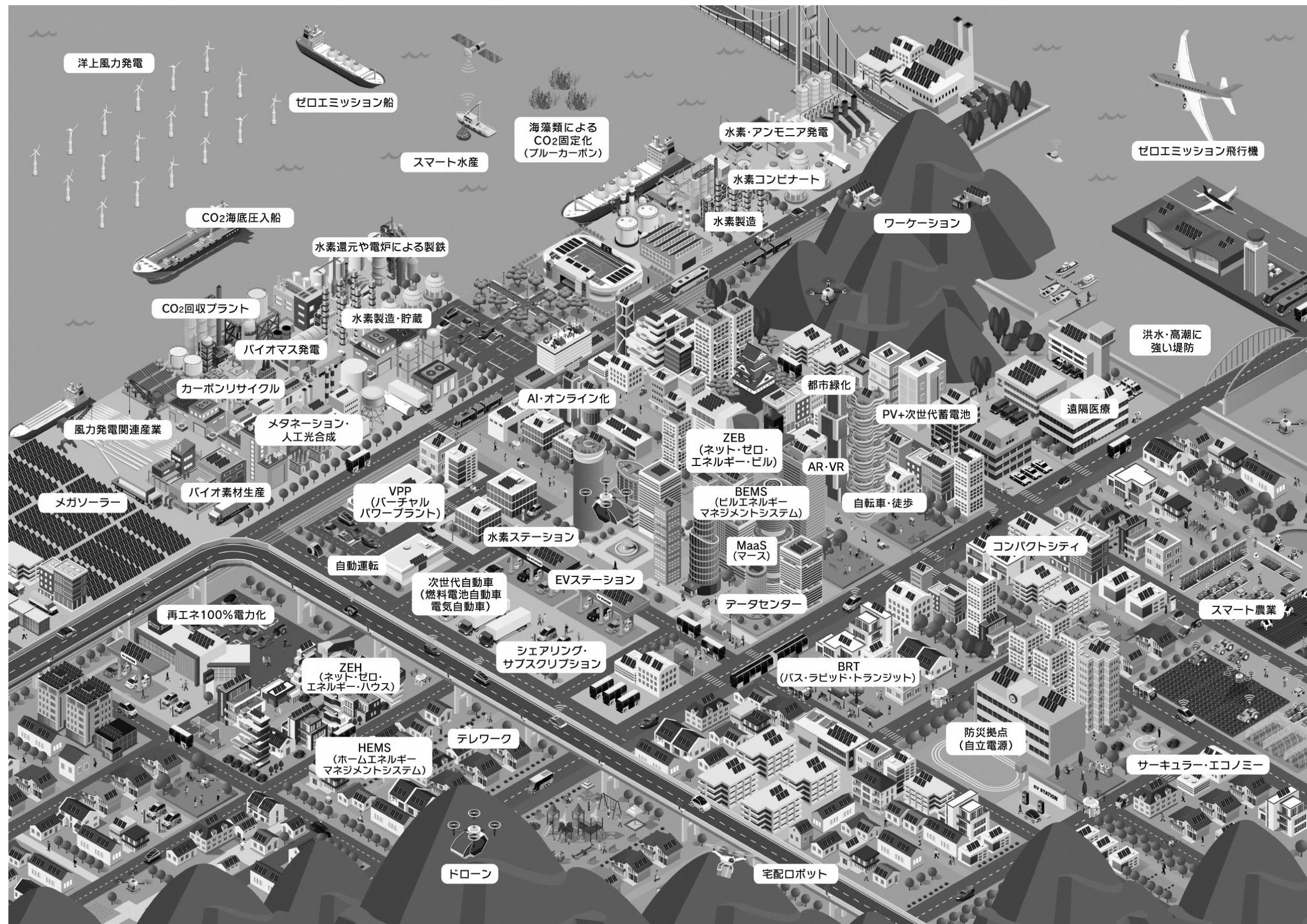


勝山公園グリーンエコハウス



2050年の脱炭素社会のイメージ

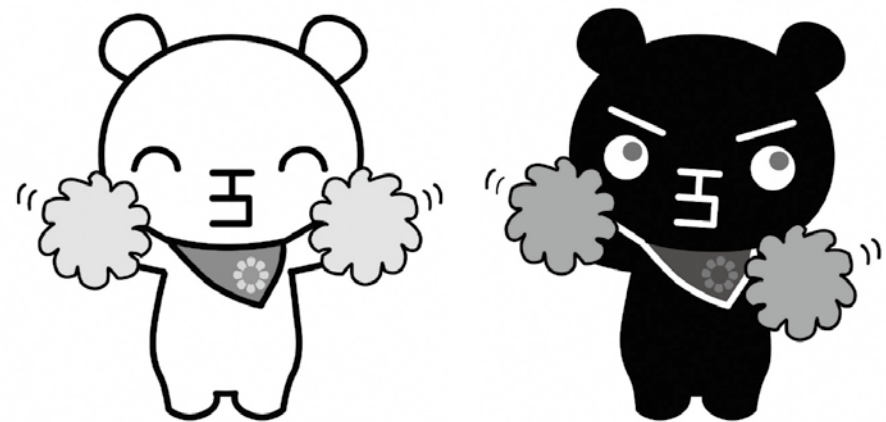
北九州市が2050年に描く「快適で災害にも強く、誰もが暮らしやすいまち」のイメージです。市民・事業者とイメージを共有しながら取り組んでいきます。



環境マスコット “ていたん&ブラックていたん”キャラクター

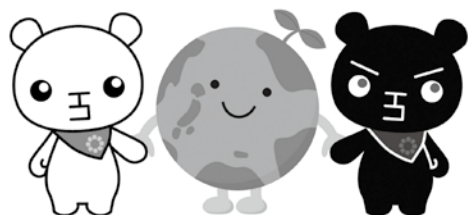
環境ラベル

北九州市は、2011（平成23）年に市民の環境意識の向上、市外への本市の環境への取り組みの広報を目的とした、親しみやすく愛着の持てる環境マスコットキャラクターを公募により決定しました。



	ていたん	ブラックていたん
出身地	北極	北九州市
特徴	鼻と口で「エコ」を表し、首には市の花「ひまわり」のワンポイントが入ったバンダナを巻いている。	当初は鼻と口が「エゴ」になった、ちょっとわがままで自己中心的なキャラクターだったが、環境首都検定で合格点を取ったので、平成28年2月に「エゴ」→「エコ」に変わった。
モチーフ	白クマ（北極グマ）	普通のクマ（黒いクマ）
性格	のんびり屋さん。 でも正義感は強い。	ちょっぴりわがまま。 くまモンに間違われることが悩み事。
年齢・性別	人間でいうと5才くらいの男の子	ていたんと同い年の男の子
誕生日	7月7日	10月1日
得意／苦手なこと	得意なこと…エコ活動 苦手なこと…走ること	得意なこと…足じゃんけん 苦手なこと…後片づけ
好きな食べ物／好きな色	好物…小倉発祥のB級グルメ 焼きうどん、いちご 好きな色…緑色（バンダナの色）	好物…ブラックコーヒー 好きな色…紫色（バンダナの色）

2022（令和4）年には“ていたん&ブラックていたん”を「カーボンニュートラル広報大使」に任命しました。イベントやSNSなどを通じて市民の皆様に、カーボンニュートラル社会の実現へ向けたPR活動を行っています。



カーボンニュートラル
北九州市

ていたんX（旧Twitter）
フォローしてね！



環境ラベルとは、商品やサービスがどのように環境負荷低減に資するかを教えてくれるマークや目じるしのことです。製品や包装などについており、環境負荷低減に資するモノやサービスを買いたいときに、とても参考になるマークです。

価格や品質だけでなく、リサイクルのしやすさや環境のことを考えて、グリーンな商品やサービスを選びましょう。

《環境物品を選ぶ際に参考となる環境ラベル》					
 エコマーク（公益財団法人日本環境協会）：ライフサイクル全体を考慮して環境保全に資する商品を認定し、表示する制度です。	 再生紙使用マーク（3R・資源循環推進フォーラム）：古紙パルプ配合率を示す自主的なマークです。古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています。	 グリーンマーク（公益財団法人古紙再生促進センター）：原料に古紙を規定の割合以上利用していることを示すグリーンマークを古紙利用製品に表示することにより、古紙の利用を拡大し、紙のリサイクルの促進を図ることを目的としています。	 牛乳パック再利用マーク（牛乳パック再利用マーク普及促進協議会、全国牛乳パックの再利用を考える連絡会）：使用済み牛乳パックを原料として使用した商品につけられるマークです。	 間伐材マーク（全国森林組合連合会）：間伐材を用いた製品に表示することが出来るマークです。	 PETボトルリサイクル推奨マーク（PETボトル協議会）：使用済みPETボトルのリサイクル品を使用した商品につけられるマークです。
	 統一省エネラベル（経済産業省）：省エネ法に基づき、小売事業者が省エネ性能の評価や省エネラベル等を表示する制度です。	 燃費基準達成車ステッカー（国土交通省）：自動車の燃費性能に対する一般消費者の関心と理解を深め、一般消費者の選択を通じ燃費性能の高い自動車の普及を促進するため、自動車の燃費性能に係る車体表示を実施。	 低排出ガス車認定（国土交通省）：自動車の排出ガス低減レベルを示すもので、自動車製作者の申請に基づき国土交通省が認定している制度です。	 省エネラベリング制度（経済産業省）：省エネ法により定められた省エネ基準をどの程度達成しているかを表示する制度です。	
《識別表示マーク》					
「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」に基づいて表示される、分別回収を促進するためのマークです。この法律で指定表示製品に指定されているアルミ缶、スチール缶、PETボトル、紙製容器包装、プラスチック製容器包装、小形二次電池、塩化ビニル製建設資材については、消費者が容易に分別できるよう、材質や成分その他分別回収に必要な事項を、マークなどの決められた様式で表示することが義務付けられています。					
 アルミ缶（公益社団法人食品容器環境美化協会）	 スチール缶（公益社団法人食品容器環境美化協会）	 PETボトル（PETボトルリサイクル推進協議会）	 紙製容器包装（紙製容器包装リサイクル推進協議会）	 プラスチック製容器包装（プラスチック容器包装リサイクル推進協議会）	
《その他のマーク》					
法的な表示義務はありませんが、リユース・リサイクルを進めるために事業者団体等が製品の素材や回収ルートがあることを表示するマークがあります。					
 紙バックマーク（飲料用紙容器リサイクル協議会）	 18リットル缶リサイクル推進マーク（全国18リットル缶工業組合連合会）	 一般缶材質表示マーク（全日本一般缶工業団体連合会）	 段ボールのリサイクル推進シンボル（段ボールリサイクル協議会）	 ガラスびんリターナブルマーク（日本ガラスびん協会）	 モバイル・リサイクル・ネットワーク（携帯電話・PHSのリサイクルにご協力。モバイル・リサイクル・ネットワーク（一般社団法人電気通信事業者協会・情報通信ネットワーク産業協会）

（出典：環境省「環境ラベル等データベース」）

カネミ油症とは

カネミ油症とは

1968（昭和43）年に福岡県、長崎県を中心とした西日本において発生した食中毒で、原因は、北九州市で操業するカネミ倉庫株式会社が製造した食用油（米ぬか油）を摂取したことによるものでした。

カネミ倉庫株式会社では米ぬか油を製造するとき、脱臭工程で鐘淵化学工業株式会社（現株式会社カネカ）製の熱媒体「カネクロール（PCB）」を使用していました。従業員の実ミスで加熱されたPCBが製品中に混入したことが原因でした。

この製品は、主に福岡県と長崎県福江市（現・五島市）で販売されました。油症の症状は、吹き出物、色素沈着、目やになどの皮膚症状のほか、全身倦怠感、しびれ感、食欲不振など多様で、母親から赤ちゃんにも影響が現れました。こうした症状が改善するには長い時間がかかり、50年以上が経過した現在も症状が続いている方々が多くいます。

PCB （ポリ塩化ビフェニル）とは

PCBは絶縁性、耐久性に優れ、水に溶けないなどの特長を持つ合成化合物で、当時、さまざまな工業用品などに使用されていました。しかし、PCBやPCBを熱すると生じるダイオキシン類は強い毒性を持ち、多量に摂取すると人体に悪影響を与えます。

北九州市や国の取り組み

北九州市は、カネミ油症が起きて以来、国や県、九州大学と連携して、原因究明や被害拡大防止に努め、カネミ倉庫株式会社に対しては、食品衛生法に基づき、行政処分を行いました。

2012（平成24）年には、「カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律」が制定され、カネミ油症の症状の改善などの研究やさまざまな施策が進められています。

カネミ油症を契機として

カネミ油症を契機として、1972（昭和47）年に、国内でのPCBの製造・販売が中止され、1974（昭和49）年には製造、輸入および新たな使用が禁止されました。

国際的にも2001（平成13）年に、ストックホルム条約が締結され、2028年までに世界中のPCBをすべて廃棄することが決まっています。

節電のすすめ

（※1）民生部門：家庭部門と業務部門の2部門から構成され、家庭部門は、自家用自動車などの運輸関係を除く家庭消費部門でのエネルギー消費を対象とし、業務部門は企業の管理部門など、事務所・ビル、ホテル、百貨店などの第三次産業などにおけるエネルギー消費を対象としています。

（※2）家庭のできる色々な節電方法：

- テレビやパソコンの電源を小まめに切る。
- 長く使わないときは、コンセントを抜く（消費電力に占める割合が6％といわれる待機電力を減らす）。
- 洗濯機や乾燥機、食器洗い乾燥機などは、「まとめて使用」して、運転回数を減らす。
- 白熱電球や蛍光灯を発光ダイオード（LED）電球に替える。
- 消費電力が大きな家電を買い換える際に、最新の省エネ型機器に買い換えることにより、消費電力が10年前と比べてエアコン約15％、冷蔵庫約28～35％削減できる。



日本のエネルギー消費量の動向をみると、民生部門※1が全体の3割も占めています（※資料-1）。その要因として、世帯数の増加とともに、エアコンなどさまざまな家電製品が普及してきたことが考えられます。私たち一人ひとりが、それぞれの暮らしを見直し節電に取り組むことで、国全体のエネルギー消費量を抑えることにつながります。

（1）家電製品のかしこい利用

家庭において家電の消費電力の割合は多く、エアコン、冷蔵庫、照明の3つだけで、家庭の消費電力の5割近くを占めるとされています（※資料-2）。家庭で使用する電力を減らすには、まず使用する家電の利用を見直し、控えていくことが効果的です。

体感温度を決めるのは、気温、湿度、気流です。エアコンの設定温度を1℃変えると消費電力は約1割違います。さらに、扇風機を併用すると空気が循環して節電に効果的です。これは、冷房だけでなく暖房にも応用できます。他にもいろいろな節電方法※2があります。

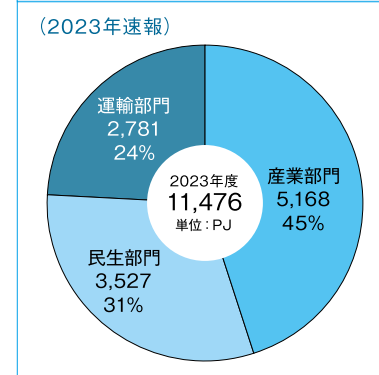
（2）住まいの工夫

冷暖房のエネルギーを節約するのに効果的なのは、「遮熱・断熱」です。「空気層の入った二重窓ガラス」や断熱効果の高い外壁を用いることで、エアコンの使用が抑えられます。また、冬は太陽光を取り入れ、夏は屋上緑化や緑のカーテン、すだれの利用で太陽を遮り、打ち水などで涼を楽しむ工夫もあります。そのほか、風や太陽・地中の熱などの自然エネルギーの活用も効果的です。

（3）夏は軽装、冬は重ね着で

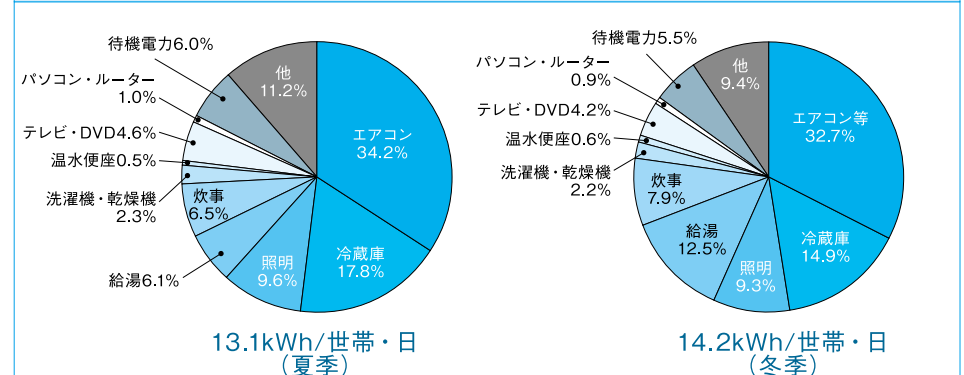
北九州市では、地球温暖化対策と資源の節約のため、「クールビズ」「ウォームビズ」を推進しています。日々の気温、それぞれのワークスタイルや仕事環境等に応じて、健康を第一に、エアコンの温度を柔軟に設定いただきつつ、適切なエアコン使用と快適で働きやすい服装の工夫をお願いします。

資料-1
部門別最終エネルギー消費



（資料-1、資料-2の出典：資源エネルギー庁）

資料-2
家庭における家電製品の1日での消費電力割合



【主な経過】

1954年4月

鐘淵化学工業株式会社（現株式会社カネカ）がカネクロール（PCB）の製造を開始。

1961年

カネミ倉庫株式会社、米ぬか油の製造を開始。

1968年2月～3月

西日本各地で約49万羽ものニワトリのヒナが大量死した。

1968年11月

九州大学油症研究班が米ぬか油からPCBを検出と発表。

1973年10月

「化学物質の審査および製造などの規制に関する法律」が成立。カネミ油症を契機に制定され、新規製造・輸入の化学物質の事前審査を制度化し、人への健康被害の未然防止を目的とした。

2008年

油症ダイオキシン研究診療センターがカネミ食用油による食中毒事件の治療法開発の推進と、発症の因果関係の解明に向けた研究を推進する研究診療拠点として設立。

2012年9月

「カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律」が成立。